



デュアル双方向バス・バッファ

P82B96

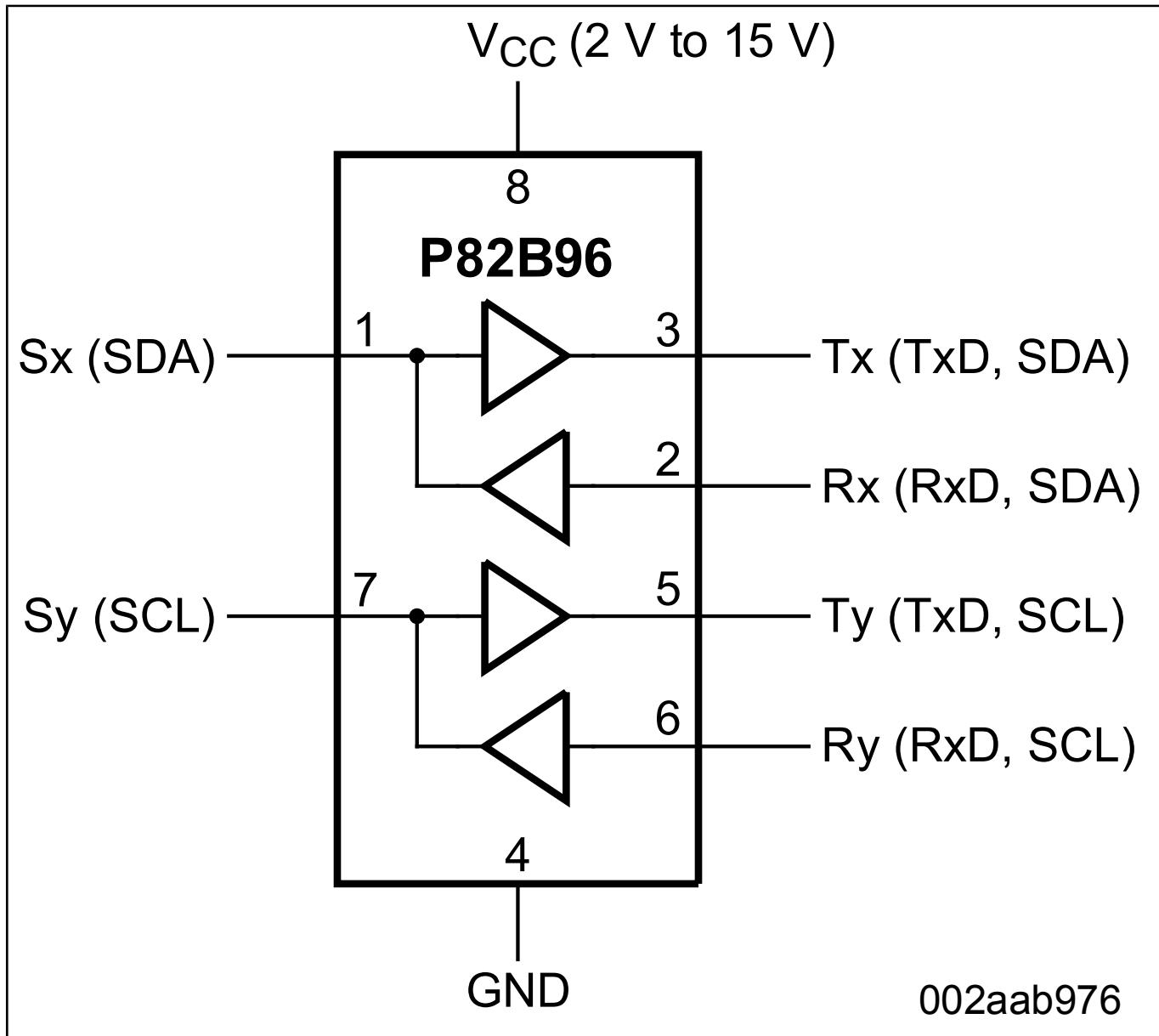
Last Updated: Sep 26, 2025

P82B96は、通常のICバスと他のさまざまなバス構成との間で、ラッチなしの双方向論理インターフェースを形成するバイポーラICです。ICバスのロジック信号を、電圧と電流レベルが異なる類似のバスにインターフェース接続できます。

たとえば、350 AのSMBus、3.3 Vのロジック・デバイス、15 Vレベルや低インピーダンスのラインなどにインターフェース接続して、より長いバス長でのノイズ耐性を向上させることができます。

このインターフェースは、通常のICバス・プロトコルやクロック速度に制限を加えることなく実現できます。このICでは、ICバス・ノードに加わる負荷が最小限に抑えられており、新たなバスやリモートICバス・ノードの負荷がローカル・ノードに伝達または変換されることはありません。システム内のICバス・デバイスの数やそれらの間の物理的な分離に関する制限は、事実上なくなります。Tx信号とRx信号が単方向信号として個別に供給されるため、平衡伝送ライン（ツイスト・ペア）経由またはガルバニック絶縁（光結合）によりSDA信号とSCL信号を容易に伝送できます。また、Tx信号とRx信号をラッチなしで直接接続して、ICバスのプロパティを備えた双方向信号ラインとすることもできます。

P82B96のブロック図 Block Diagram



View additional information for [デュアル双方向バス・バッファ](#).

Note: The information on this document is subject to change without notice.